

平成29年度全国学力・学習状況調査結果(自己採点)について

1. 各教科の分析と対策

(1) 国語

①国語A 主として「知識」に関する問題

【成果】 ①「書くこと」の領域における「書く能力」をみる問題

②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域における「言語の知識・理解・技能」をみる問題の、漢字及び文法事項

【課題】 ①「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域における「言語の知識・理解・技能」をみる問題の、多様な語句の理解にかかわる問題

②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域における「言語の知識・理解・技能」をみる問題の、書写にかかわる事項

【課題がある問題の具体的な内容】

- 話し合いの記録として適切な言葉を考える。
- 楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する。
- 行書の特徴の組み合わせとして適切なものを選択する。

【身につけさせたい力】

- 事象や行為などを表す多様な語句について理解する力。
- 楷書と行書の違い、そして行書の特徴を理解する力。

②国語B 主として「活用」に関する問題

【成果】 ①「読むこと」の領域における「読む能力」をみる問題

【課題】 ①「話すこと・聞くこと」の領域における「話す・聞く能力」をみる問題

【課題がある問題の具体的な内容】

- スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す。

【身につけさせたい力】

- 相手の反応を踏まえながら、事実を相手にわかりやすく伝えるように工夫して話すこと。

【国語の対策】

①教科書教材に限定せず、多様な文章を教材として扱う。

②書写の基礎知識を高める取組

- ・大事なポイントは板書し、ノートに書かせるなどの工夫。
- ・字を書くときに注意すべきことをスモールステップで繰り返し指導する。

②話す能力を高める取組

- ・討論など、相手の反応を踏まえた上で発言できるような授業をより多く行う。
- ・スピーチ原稿の型を教え、それに沿って内容をまとめさせる指導を行う。

(2) 数学

①数学A 主として「知識」に関する問題

【成果】 ①「数と式」の領域における、具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり、処理する問題

- ②「図形」の領域における基本的な技能や知識・理解を問う問題
- ③「関数」の領域における基本的な技能や知識・理解を問う問題
- ④「資料の活用」の領域における確率の知識・理解を問う問題

【課題】 ①「数と式」の領域における、式の意味を読み取ったり、法則などを式に表現する問題

- ②「図形」の領域における、平面図形・空間図形の面積や体積を求める問題
平面図形・空間図形の性質や意味を問う問題
- ③「関数」の領域における、比例・反比例・1次関数の性質や意味を問う問題

【身につけさせたい力】

- 文字式や方程式の計算法則を利用するだけでなく、なぜそのようになるのかという意味から理解すること
- 平面図形や空間図形の面積や体積の求め方を覚えるだけでなく、なぜそのようになるのかという意味も理解すること
- 作図の方法などを確認するだけでなく、なぜそのようになるのかという意味から理解すること
- 関数について、比例・反比例・1次関数について、特徴や言葉の意味、2つの数量の変化や対応の様子から関数関係を見だし表現・考察すること

②数学B 主として「活用」に関する問題

【成果】 ①「関数」の領域において、座標の意味を理解する問題

- ②「資料の活用」の領域において、ヒストグラムや度数分布表について理解し、資料の傾向を読み取る問題

【課題】 ・すべての領域において、数学的な見方や考え方を問う問題

【身につけさせたい力】

- すべての領域において、情報を整理したり、わかりやすく図示したり、思考を深めるための方法や手段、考え方を身につける。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること

【数学の対策】

①「数と式」、「関数」、「図形」、「資料の活用」の領域についての技能、知識・理解の確実な習得

- ・学び直しの時間の有効活用
- ・少人数指導等で基礎基本の確実な習得

②数学的な見方や考え方を伸ばす授業実践

- ・多様な考え方が引き出せる題材を工夫する。
- ・既習事項をもとに、根拠を示しながら説明する場面を設定する。

③「活用する」能力を高める授業実践

- ・単元において、「活用問題」に取り組む授業を配置する。



川西中学校 全教科を通して授業改善のポイント

①統一した授業改善(主体的・対話的で深い学び)

課題提示→解決(話し合い活動)→まとめ

②一人一人に応じた授業の展開

(発展的・補足的な学習など授業の指導方法の工夫・改善)

基礎基本の確実な定着・活用する力の育成

③興味関心、知的好奇心、有用感がわく教材の工夫

主体的・意欲的に学ぶ姿勢, 学習意欲の向上

④考えを出し合い、確かめ合う、話し合う活動

表現力の育成

⑤話す・書く活動

→条件を設定して(語句や字数)、考えを整理する・まとめる

読解力・思考力の育成

⑥課題と向き合う効果的な家庭学習の指導

(とてっぼタイムによる学びの連続性)

自己教育力の育成